



忠義太平記

四

13
1499
4



忠義本平記大全巻之第四

目録

大冨由良の助父子よりののり事

大種本生世守治の若布の物事

大冨力孫大種生野と村人の後事

大野本生時天倉のつとめ事

大種本十島幸氣の死事

生世正覺生死事大無常迅速事



一家を同老とよぐいひのがらる事

由良の助親子をいまよがらる事

ふ坂吉又じとあやうらる事

日桑文河納涼の事

由良の助私奪とらる事

一赤のり同老とらる事

由良の助盟約の連判とらる事

海アウと集う書おらる事

うと集う婦山科よあじく事

忠義太平記大全巻之第四

大層由良の助父子とよのり事

およそ悉のたあよへると蒼中よひそめ。名と卑儀

よけぐ。お難可若よあらへつそと。お徳の事憶

ととづらんの人ころ所いかり。されば大層由良の助味

のものどもいそがぬ目殺わけら通て。卯月の事

とよぎし。しう。とよまれ。なつと。とよと。とよと。とよと。とよと。

ちいさなぬなと地よう。とよと。孤舟のあや。とよと。とよと。

ねじ。あつひ。い。ゆ。ゆ。と。系。鞋。よ。は。を。て。お。煙。の。つ。も。

よの。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

との。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

う。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。



酒の二のりやうてい。毎日色里よりまがとよ。一子
 力孫と。年のよりくる親仁さへげたの責状せうはま
 ちやまぐもへさうりのむ。どうのうてびわうとととこれ種
 ね紙室町。親子あんとりあひとかりて。すけとささじと
 けりいへぶ。ゆひやゆひあ載よへう孫のある本や生わかと
 人もあさうくむりかり。今の中く亡恋の懸つ。つもむりと
 ありのじ。おまのつ。ゆぎうつ。いさうくもえさうしり。金珠
 とくしと。時あまべ。朽るまのうかかど。世上のまらひ孫
 とあれた。ゆひくゆひあへ。けく本家のあま。石坂音あむむ
 とあかりし。舞のゆひくゆ。月注のらとへさうり。利懸
 ぼとして。京の責人よ金紙と。その月あひと
 つ。まふゆい酒よまどと。頂上のうつけとかりわらこ



酒の二のりやうてい

下より色を帯ととめて二人と色に丸をとりふりてこ
びうそきりやうひらう。若波と富林と。今の徳忍あらず。こ
もまどとちのひーうだ。中びく助へた。猫よあひー杯ど
のこく。ふいふらうかひてうらく。あひ病道は是物か
く。徳忍して病うと。あまのそのま中びく助が。鼻紙袋と
とめて。あひこれあぞ。まこも。ゆぎ。く。さうねとら
りし。そのまうと。さんきりき。うら杯して。とりと。ちうげか。た
こ。う。ての。ら。ぞ。と。の。紙。入。ま。よ。て。中。び。く。助。が。あ。う。げ。と。あ。う
ち。の。う。ら。た。と。と。徳。忍。は。た。ら。ぐ。ひ。ち。に。て。三。条。乃。う。へ。り
う。へ。中。び。く。助。へ。これ。か。あ。と。も。ゆ。め。い。と。く。その。紙。袋。へ。去。年
三。条。で。ぬ。い。せ。し。中。よ。う。と。う。の。判。也。四。条。り。ま。ん。ゆ。く
ー。ト。され。よ。と。あ。と。り。う。ら。か。ー。め。た。よ。そ。ふ。さ。う。せ。て。う。の。ね

りて二人をよ。うらく。と。と。い。ま。と。と。ま。う。ま。う。の。と。こ。う。を
あ。と。や。た。ら。の。の。い。ま。と。と。人。氣。あ。い。し。う。ら。よ。め。と。若。波
と。富。林。と。中。び。く。助。よ。じ。う。ひ。を。と。ま。し。く。大。使。と。あ。ひ。い。ら
わ。ま。と。大。切。の。あ。と。ひ。が。う。ら。あ。ま。り。は。身。あ。る。は。あ。ま。い。
こ。と。小。盗。人。の。徳。忍。と。り。兵。士。の。一。づ。ん。さ。や。さ。び。あ。わ。ら。人
た。ら。の。中。あ。と。く。船。争。よ。た。と。い。わ。ら。あ。る。は。ん。危。よ
て。い。ぞ。と。い。ふ。中。び。く。助。こ。の。心。を。よ。て。あ。た。大。使。の。細。護。を
り。り。と。と。韓。信。が。勝。下。の。船。と。大。使。と。と。げ。め。ま。い。れ
く。い。て。船。争。し。ず。さ。う。く。あ。と。金。よ。と。ら。こ。と。と。い。ま。う。か。あ。い
か。ま。と。その。う。人。徳。人。の。面。あ。あ。と。く。船。争。よ。あ。と。た。ん。こ。と。と
ま。く。が。あ。い。し。の。ぞ。い。と。こ。う。あ。と。あ。い。く。う。こ。と。と。け。か。い
そ。め。い。ん。と。あ。ま。い。ば。あ。も。地。家。の。宰。人。と。と。こ。と。今。の。町。人

今更に平記して

中も世家の軍人、こゝにあらく、武とすて、あつち
茶の湯の指前、さむしとち、又の古た具を、妙座の
沖、さむく、此高貴、さむし、さむし、さむし、さむし、さむし、
家、指、さむく、交、酒、さむし、さむし、を、興、さむく、さむく、さむく、
か、ん、ど、う、ら、と、さ、れ、と、さ、れ、と、さ、れ、と、さ、れ、と、さ、れ、と、
と、な、ど、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
これ、あ、つ、ち、の、理、分、も、中、も、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
と、十、二、と、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
と、十、二、と、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、

いから懦弱の後病のい、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
い、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
と、い、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
今、い、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
て、陸、軍、よ、い、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
く、小、西、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
あ、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、

由、さ、む、く、連、判、の、監、約、と、さ、む、く、

され、大、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
め、指、前、と、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、
め、指、前、と、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、さ、む、く、

はりのちまの女のくまふんどもうへたれあつたよとく
一の。愛せざるものありがごとく。百十人ト盟約す
と。月日たふちつぐひ。波舟ふん雲トて。なうやく又十人
かまびらつぐ。ゆめ助げくぐ。業とめらじり。一味の酒ち
と。事ののちゆぐ。いともあらず。隠謀かくふの進ん。こま
やぶれんぐ。かれごと。病歎よ。ちまびらつぐ。ほ梅勝とむい
と。とど。いのそり。いともあらず。と。盟約の誓紙を
とり出。まづ。自取。あまびよ。か紙が。利とやがり。一味の
ど。とへつる。い。縁て。申し。念を。一。次。南村の。あり。る。ぬ。と。い。は。よ。
申くる。あま。く。と。い。ひ。び。さ。う。う。い。か。の。く。と。向。ほ。い。あ。う。を。か。上。
の。こ。づ。い。む。い。は。ま。あ。い。と。も。こ。一。子。か。紙。と。書。と。ご。く。と。出。し。
な。ら。ぶ。と。せ。や。と。い。へ。い。ま。ら。ひ。い。ひ。て。誓。紙。の。判。取。と。や。が。り。の。い。

しつら。い。か。の。く。あ。と。は。や。が。り。い。へ。と。い。ひ。か。る。一。味。れ。あ
ど。と。た。ふ。お。ど。海。と。い。い。ら。う。あ。つ。こ。と。ぞ。棟。梁。と。た。の。こ。た。り。
ゆ。め。助。さ。う。く。遠。愛。よ。あ。い。ぶ。い。と。い。と。ご。の。ち。の。あ。い。さ
と。の。ち。か。と。大。ふ。う。る。と。の。と。あ。つ。や。く。ゆ。め。助。ん。申。ゆ。た
ら。海。く。わ。と。い。ら。わ。つ。と。い。た。い。ら。い。ゆ。事。な。い。と。い。へ。と。と。つ。い。ひ
と。う。へ。と。と。か。か。う。り。ら。り。中。ゆ。と。海。ア。う。と。米。が。り。ま。い。と。い。と。と。を
ん。ど。と。自。害。し。う。せ。い。ふ。田。十。多。事。つ。ぐ。む。と。あ。り。が。け。い。と
と。わ。の。う。ふ。あ。り。お。川。と。う。き。業。よ。じ。う。ひ。け。中。の。ゆ。ゆ。は。一。味
乃。在。申。し。い。も。く。と。い。ら。い。合。密。候。と。い。あ。い。ぞ。と。い。い。ゆ。と。い
と。う。せ。い。く。と。い。ふ。海。ア。と。今。つ。つ。ま。ま。と。い。と。大。層。ゆ。め。助。が。
ん。と。う。く。い。ゆ。事。あ。り。の。ま。ま。に。か。り。ら。り。女。房。大。い。と。い。と。と
け。い。と。い。く。ゆ。め。助。と。い。と。い。と。い。ひ。今。ま。ま。と。い。た。の。こ。な。い。

一やーさよびしうぐえかひのまのうらなれあかく
 ちてそそ是也^いあーけうへ^い連判^いとやがり^いと申^いくもな
 るとやせぐべ。採^い樂^いらとくわう^いく^いう^いあ^いる^い人^いとたてよつ
 こ。中^い懐^いとま^いと^いと^いの^い女^い房^いあ^いま^いと^いか^いげ。ち^いど^いう^いう^い
 じ^いの^い指^いは^いら^いが^いの^いの^いこ^いの^いあ^いま^いの^いさ^いり^いの^いこ^いの^いあ^いん^いと^いさ^い
 と^いう^い兼^いい^いの^いと^いあ^いこ^いの^い氣^いが^いら^いが^いひ^いし^いう^いの^いあ^いる^いゆ^いぞ^いと^い制^い
 くれ^いべ^い何^いら^いう^いと^いと^い氣^いら^いが^いひ^いと^いや^いた^いの^いあ^いは^いあ^いこと^い。人^い他^いの^い
 氣^いら^いが^いひ^いな^いれ^い何^いと^い申^いさ^いの^い房^いあ^いの^いね^いぐ^い世^いあ^いか^いよ^いう^いこ^いい^いう^い
 ら^いい^いあ^いい^いもの^いの^いう^いも^いと^い男^いの^いら^いら^いより^い。か^いら^いは^い身^いの^いこ^い
 ぐ^いと^いぐ^いい^いけ^いあ^いり^いつ^い。申^いさ^いの^い助^いど^いの^いこ^いう^いが^いあ^いけ^いて^いの^いこ^い
 の^いあ^いら^いく^いあ^いる^いよ^い。申^いさ^いまで^いと^い申^いふ^いこ^いと^いあ^いり^い。控^い病^いよ^いや^い
 して^いあ^いり^いと^いだ^いの^いじ^いの^いの^いし^い。あ^いの^いた^いま^いら^いね^いと^いや^いり^いと^いぶ^いる^い。あ^い



まじりあへるやうにまじりてゐる。自害のあひねら
うりもさくあひねりていへぬけのころあふ不義の人地
人なり。まじりていへぬけのころあふ不義の人地
とたふすにまじりていへぬけのころあふ不義の人地
らまじりていへぬけのころあふ不義の人地
仕保せまじりていへぬけのころあふ不義の人地
をむすのよらまじりていへぬけのころあふ不義の人地
んよ。ゆのいへぬけのころあふ不義の人地
牝一交の死とていへぬけのころあふ不義の人地
ぐとなまじりていへぬけのころあふ不義の人地
男まじりていへぬけのころあふ不義の人地
いひ一なり。保樂大屋。いふふとまじりていへぬけのころあふ不義の人地

中へ金をとりていへぬけのころあふ不義の人地
よの死とていへぬけのころあふ不義の人地
のらりとのまじりていへぬけのころあふ不義の人地
てあふぬけのころあふ不義の人地
せまじりていへぬけのころあふ不義の人地
いへぬけのころあふ不義の人地
まじりていへぬけのころあふ不義の人地
とていへぬけのころあふ不義の人地
こへぬけのころあふ不義の人地
をむすのよらまじりていへぬけのころあふ不義の人地
らまじりていへぬけのころあふ不義の人地

忠義大平記大全巻の百四終



